

輝き

三木市立三木特別支援学校 学校通信 No.8 令和6年1月9日

はじめに

令和6年能登半島地震により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。いまだ行方不明の方が多数おられます。また、被災地にあっては、救助の手も、必要な物資も行きわたらない状態にあります。被災地から遠く離れた本市や兵庫県においても、被災地にご縁のある方が多くおられます。被災された方々や関係する皆様の悲しきややるせなさを心に留め、私たちはできることを精一杯取り組んでいきたいと思っております。被災地の一日でも早い復興を心からお祈り申し上げます。

年始に寄せて

はじめに、決して明るい話題でないことをお詫びしお断りします。

この1か月余りの期間は、私にとって、「命」や「生きる」ことを考えさせられる出来事がいくつかありました。1つは間接的に関わっていたお子さんが亡くなられたこと。また1つは両親の病気と介護が始まったこと。そしてもう1つが1月1日の大震災です。私の両親のことは別として、子どもが亡くなることや天災で多くの方が亡くなることは、本当に心痛な出来事です。誰も悪くないと分かっている、ことの理不尽さに、やるせなさややり場のない怒りを感じます。しかし、私の心がどう波立っても、現実は変わりませんし、何かがいい方向に進むわけでもありません。だったら私はどうしたらいいのか。

私がすべきことは、今日の前にいる子どもたちと精一杯関わること。そして今日に悔いを残さないことなのだ改めて感じています。

25年程前になります。医療的ケアが必要な児童の担任をさせていただきました。その時に様々なことを学びましたが、一番心に残っているのが、「今日で最後になっても後悔しない1日にしよう」という思いを職員と保護者で共有したことでした。決して立派な実践をした訳ではありません。ただ、1日1日を丁寧に思い切って取り組むだけの毎日でした。それを今思い出します。

1月1日に痛ましい出来事があった今年だからこそ、一瞬一瞬、1時間1時間、1日1日を丁寧に悔いなく過ごすことの大切さをしっかりと心に刻み、日々の教育活動を進めていきます。

第1回50周年記念事業実行委員会を開催しました

12月21日（木）に第1回実行委員会を開催しました。参加希望をいただいた保護者並びに職員の全員の参加を得ることができました。

今回は委員長並びに副委員長を選出しました。委員長には石井智代様、副委員長には米澤真司主幹教諭を選出しました。お二人を中心に詳しい協議を進めていきます。次回は3月初旬を予定しています。

校長 橋本 泰一